

第9章 就学前児童・就学児童がいる世帯の比較

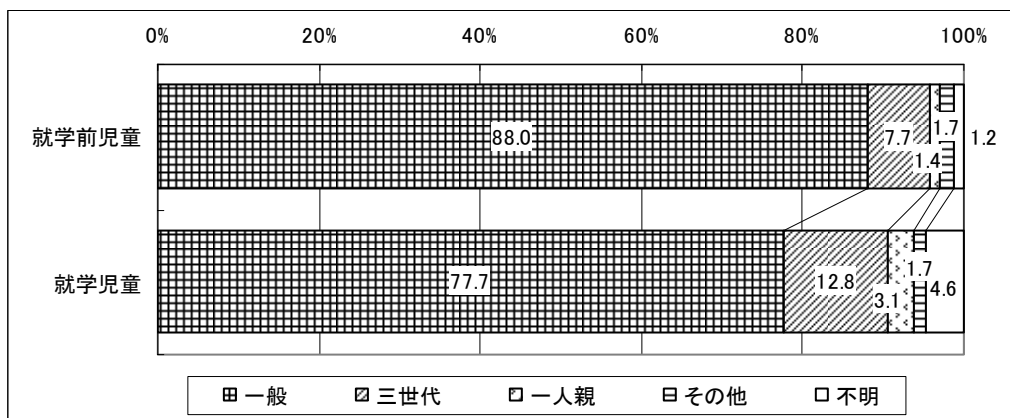
1. 回答者の属性

(1) 家族構成

家族構成については、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに「一般世帯」が大半を占めていますが、特に就学前児童がいる世帯は88%となっています。一方、「三世代世帯」は就学児童がいる世帯が12.8%であるのに対し、就学前児童がいる世帯は7.7%にとどまっています。

※ 図表中、「就学前児童がいる世帯」=「就学前児童」、「就学児童がいる世帯」=「就学児童」と表記。

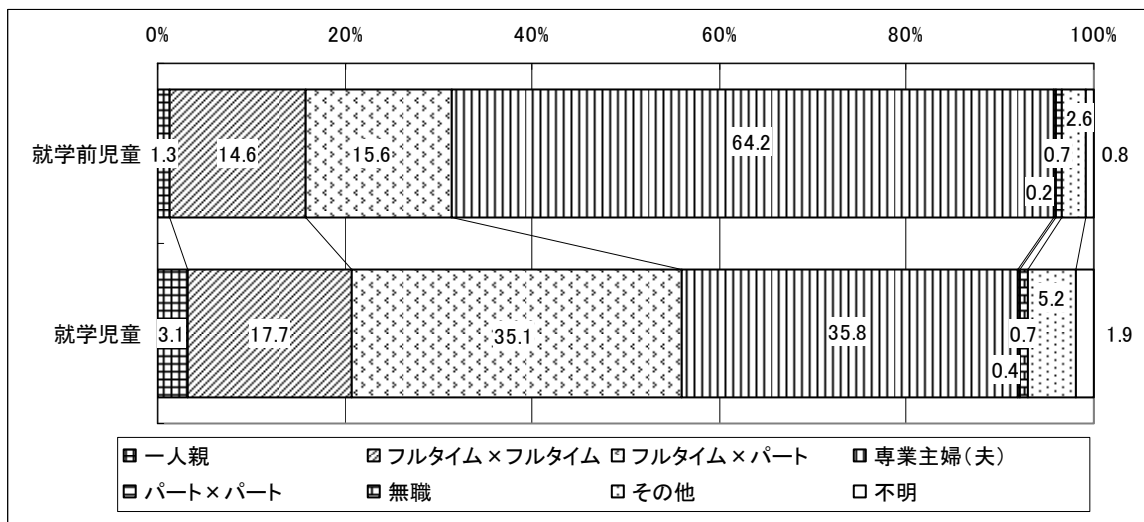
図表 424 家族構成[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(2) 就労形態

保護者の就労形態をみると、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに、「専業主婦(夫)」が最も高くなっていますが、就学前児童がいる世帯は64.2%であるのに対し、就学児童がいる世帯は35.8%にとどまっています。一方、就学児童がいる世帯は「フルタイム×パート」も「専業主婦(夫)」とほぼ同じ割合の35%程度となっています。

図表 425 就労形態[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(3) 母親の就労希望の有無

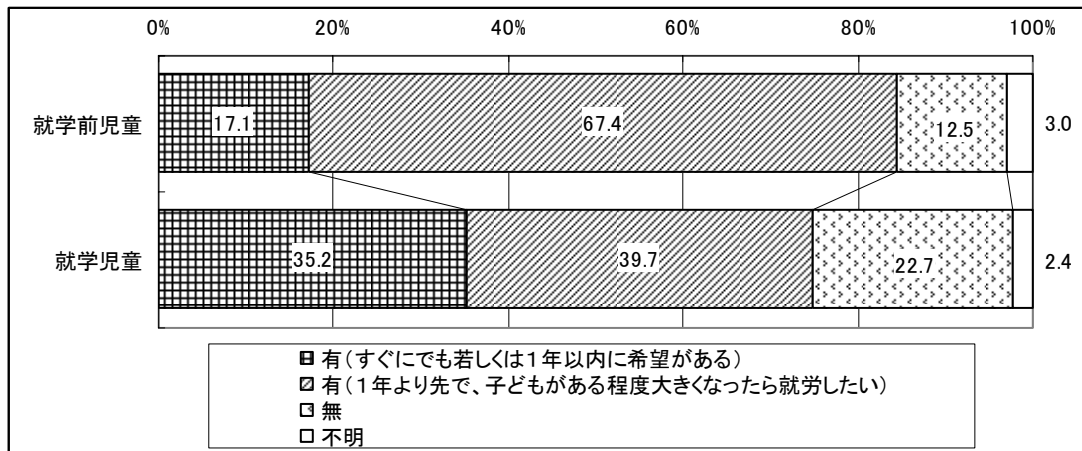
母親の就労希望の有無については、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに「有」が75～85%となっていますが、特に就学児童がいる世帯では、「有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」が35.2%を占めており、就学前児童がいる世帯に比べて約18ポイント高くなっています。一方、就学前児童がいる世帯は「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」が67.4%を占め、就学児童がいる世帯に比べて約28ポイント高くなっています。

また、就労の希望のある人が希望する就労形態については、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人が大半を占めていますが、特に就学児童がいる世帯の方がその傾向がうかがえます。一方、「フルタイムによる就労」については、就学前児童がいる世帯は9.8%、就学児童がいる世帯は5.0%となっています。

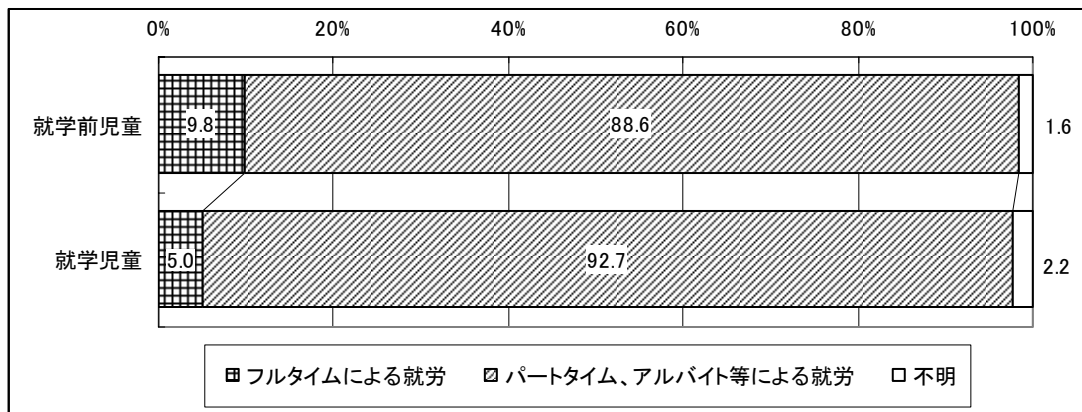
パートタイム、アルバイト等による就労を希望する人の希望する就労日数については、「3～5日」が多くなっています。

就労希望する時の末子の年齢についてきいたところ、就学前児童がいる世帯は「6～8歳」が46.1%と最も高く、次いで「3～5歳」(32.5%)であるに対し、就学児童がいる世帯は「12歳以上」が35.1%と最も高く、次いで「6～8歳」(28.6%)、「9～11歳」(27.4%)となっており、就学前児童がいる世帯の方が、就労を希望する時の末子の年齢が低くなっています。

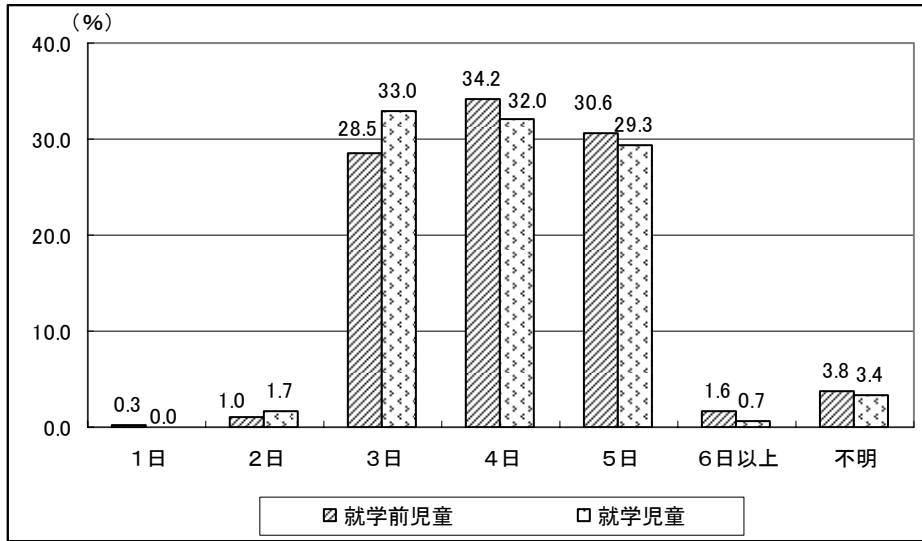
図表 426 母親の就労希望[就学前児童;N=811、就学児童;N=423]



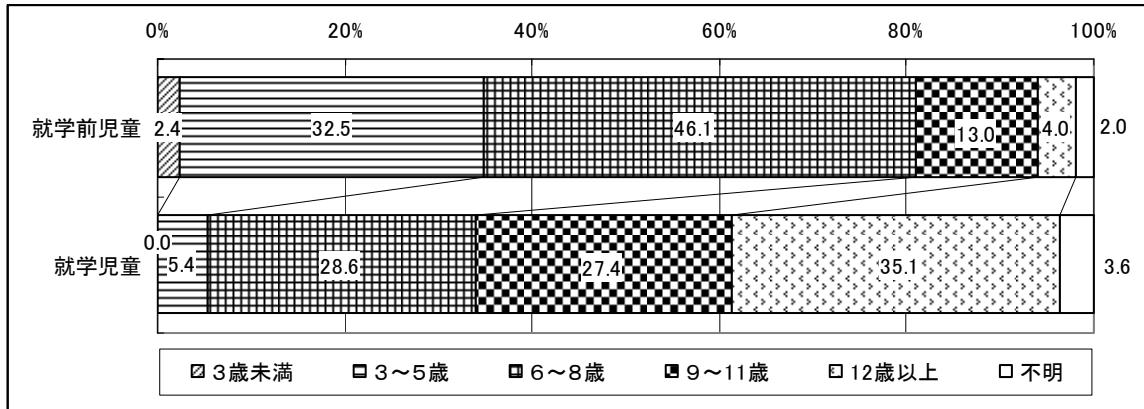
図表 427 母親の就労希望形態[就学前児童;N=686、就学児童;N=317]



図表 428 (パート)1週間あたり就労希望日数[就学前児童;N=608、就学児童;N=294]



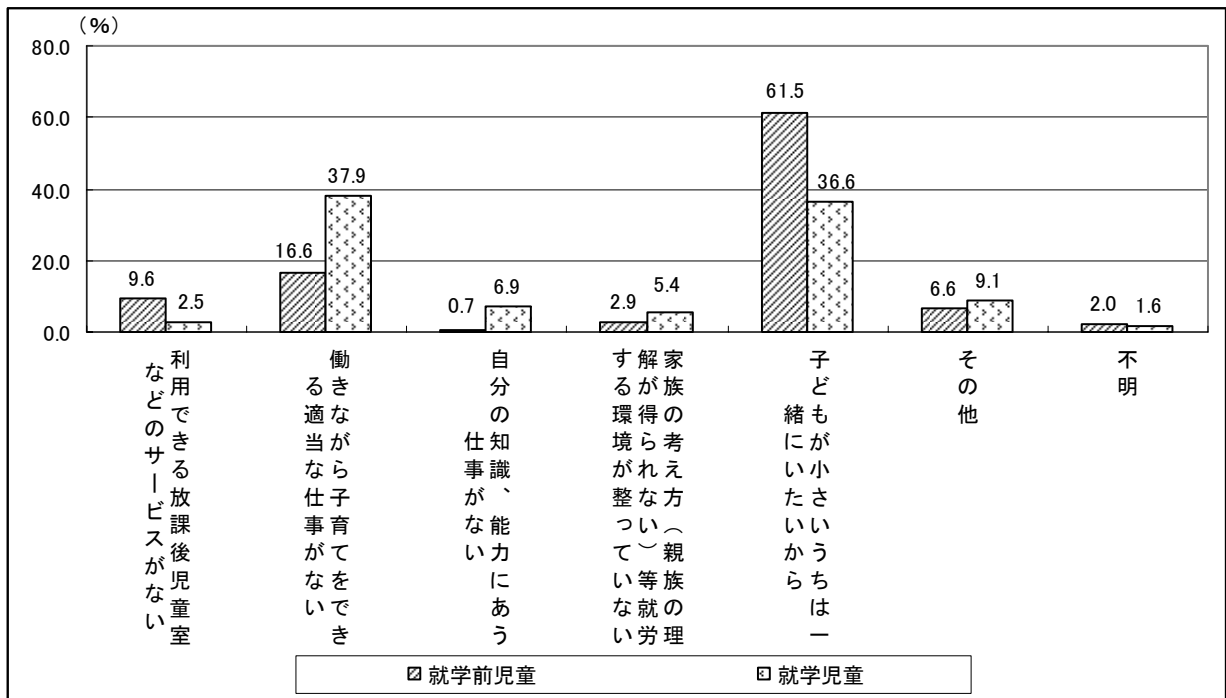
図表 429 就労希望時の末子の年齢[就学前児童;N=547、就学児童;N=168]



(4) 就労希望がありながら働いていない理由

就労希望がありながら働いていない理由についてきいたところ、就学前児童がいる世帯は「子どもが小さいうちは一緒にいたいから」をあげる人の割合が 61.5%と最も高いのに対し、就学児童がいる世帯は「働きながら子育てをできる適当な仕事がない」(37.9%)、「子どもが小さいうちは一緒にいたいから」(36.6%) がほぼ同じ割合で高くなっています。

図表 430 就労希望がありながら働いていない理由[就学前児童;N=686、就学児童;N=317]



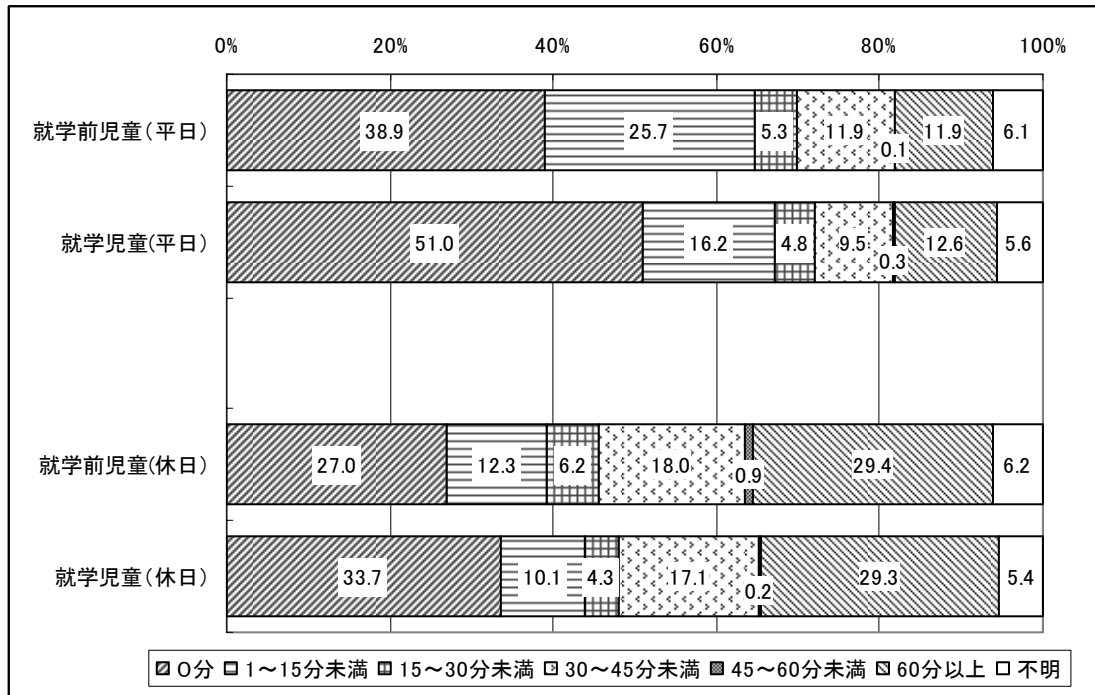
(5) 父親が日ごろ家事や育児に費やす時間

父親が日ごろ家事に費やす時間については、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに、平日は「0分」が最も高くなっています。次いで「1~15分未満」となっています。また、休日では「0分」と、「60分以上」の割合が高くなっており、平日に比べて、家事に費やす時間がかなり増えています。平均では、平日は、就学前児童がいる世帯が 23.4 分、就学児童がいる世帯が 21.8 分、休日は、就学前児童がいる世帯が 43.3 分、就学児童がいる世帯が 40.9 分となっています。

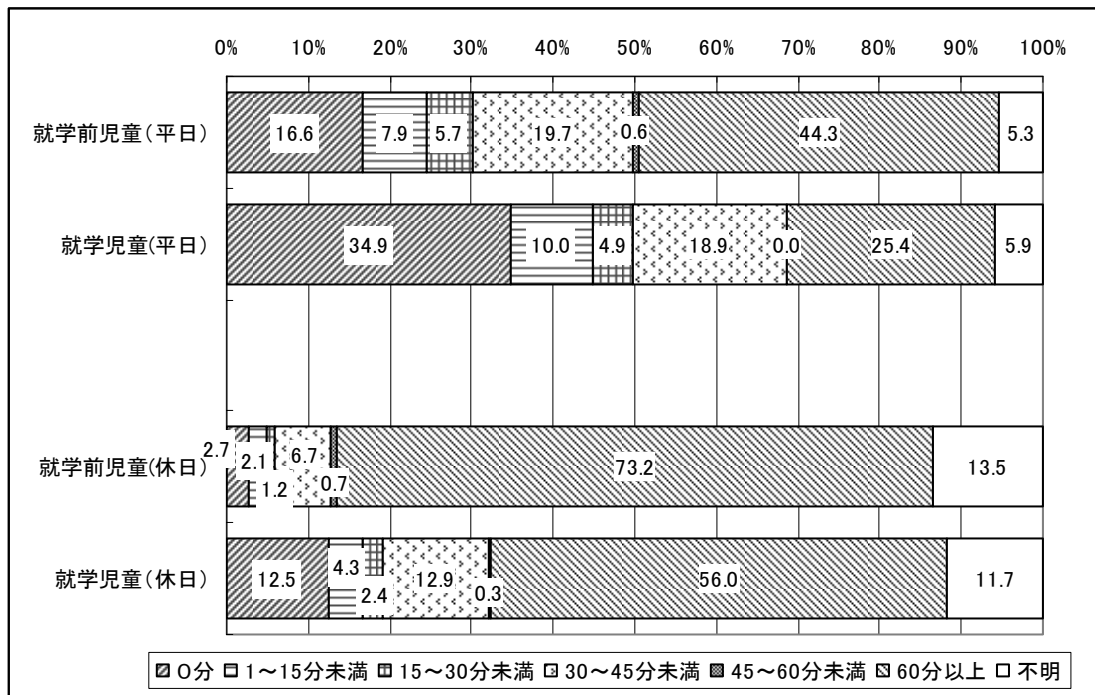
また、育児に費やす時間をみると、就学前児童がいる世帯は、平日、休日ともに「60分以上」が最も高くなっていますが、就学児童がいる世帯は、平日は「0分」、「60分以上」の割合が、休日は「60分以上」が高くなっています。平均では、平日は、就学前児童がいる世帯が 63.0 分、就学児童がいる世帯が 36.4 分、休日は、就学前児童がいる世帯が 193.2 分、就学児童がいる世帯が 119.9 分となっており、就学前児童がいる世帯の方が就学児童がいる世帯に比べてかなり育児に割く時間が長くなっています。

図表 431 父親が日ごろ家事や育児に費やす時間[就学前児童:N=1,217、就学児童:N=1,080]

<家事>



<育児>

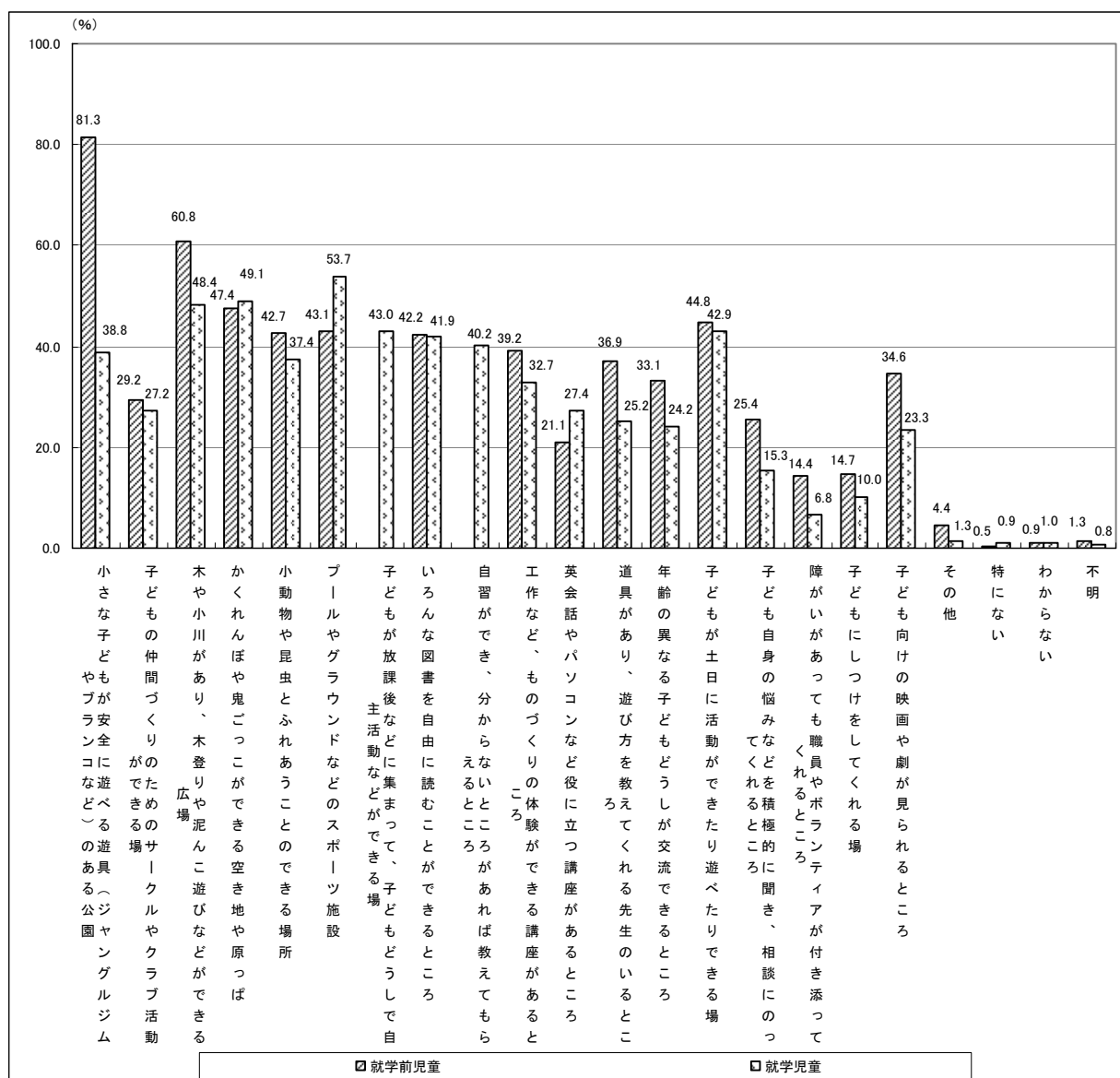


2. 子どもの遊びの環境

(1) 公共施設や公園など近くにあったらよいものについて

公共施設や公園など近くにあったらよいものについてきいたところ、就学前児童がいる世帯は「小さな子どもが安全に遊べる遊具（ジャングルジムやブランコなど）のある公園」をあげる人の割合が81.3%と最も高く、次いで「木や小川があり、木登りや泥んこ遊びなどができる広場」（60.8%）となっています。一方、就学児童がいる世帯は、「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」が53.7%と最も高く、次いで「かくれんぼや鬼ごっこができる空き地や原っぱ」（49.1%）となっており、就学児童がいる世帯は活発に動き回れる場所を希望する人が多いことがうかがえます。

図表 432 公共施設や公園など近くにあったらよいものについて（複数回答）〔就学前児童；N=1,254、就学児童；N=1,183〕



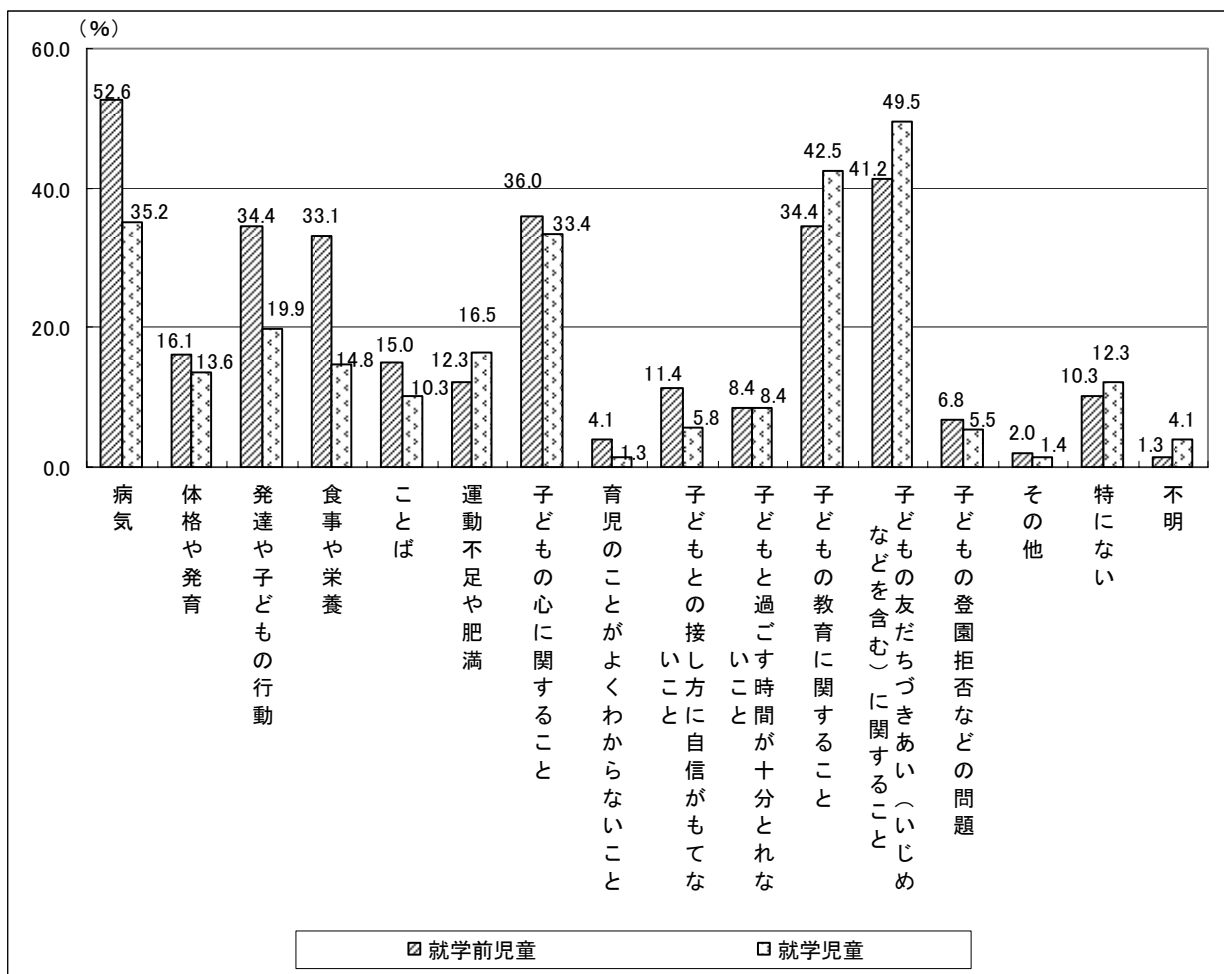
3. 子育てに関する不安や悩み

(1) 子育てに関する不安や悩み

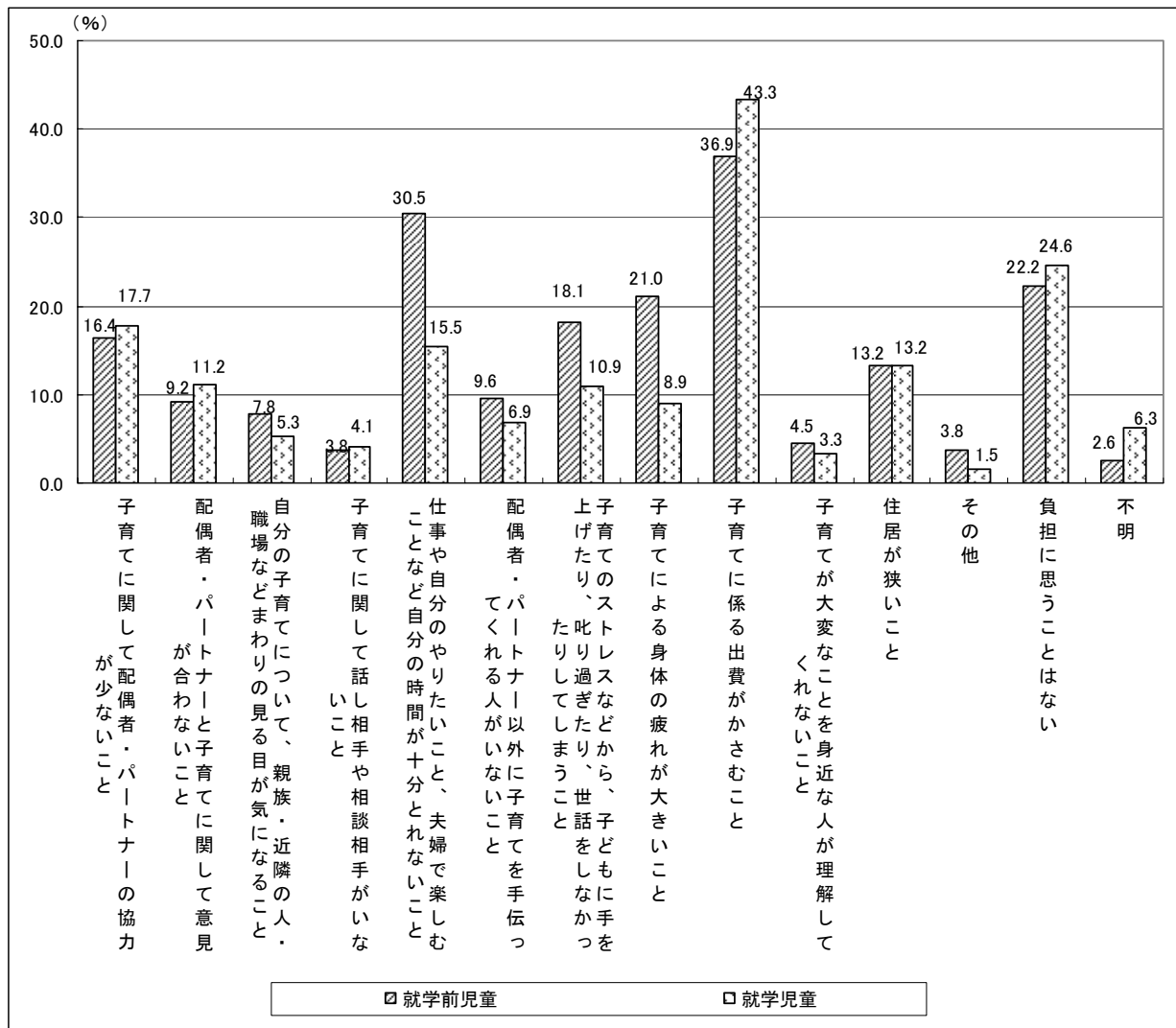
子育てに関する不安や悩みのうち、子ども自身に関する不安や悩みについてきいたところ、就学前児童がいる世帯は「病気」をあげる人の割合が最も高く 52.6%となっています。次いで「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」（41.2%）となっています。一方、就学児童がいる世帯では「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」をあげる人の割合が最も高く 49.5%となっており、次いで「子どもの教育に関すること」（42.5%）となっています。

また、親に関することについては、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに「子育てに係る出費がかさむこと」をあげる人の割合が最も高くなっています。それ以外では、全体的に就学前児童がいる世帯の方が就学児童がいる世帯に比べてさまざまな不安や悩みの項目をあげており、「仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと」、「子育てのストレスなどから、子どもに手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと」、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」は7.2～15ポイントの差がみられます。

図表 433 <子どもに関する>不安や悩み(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



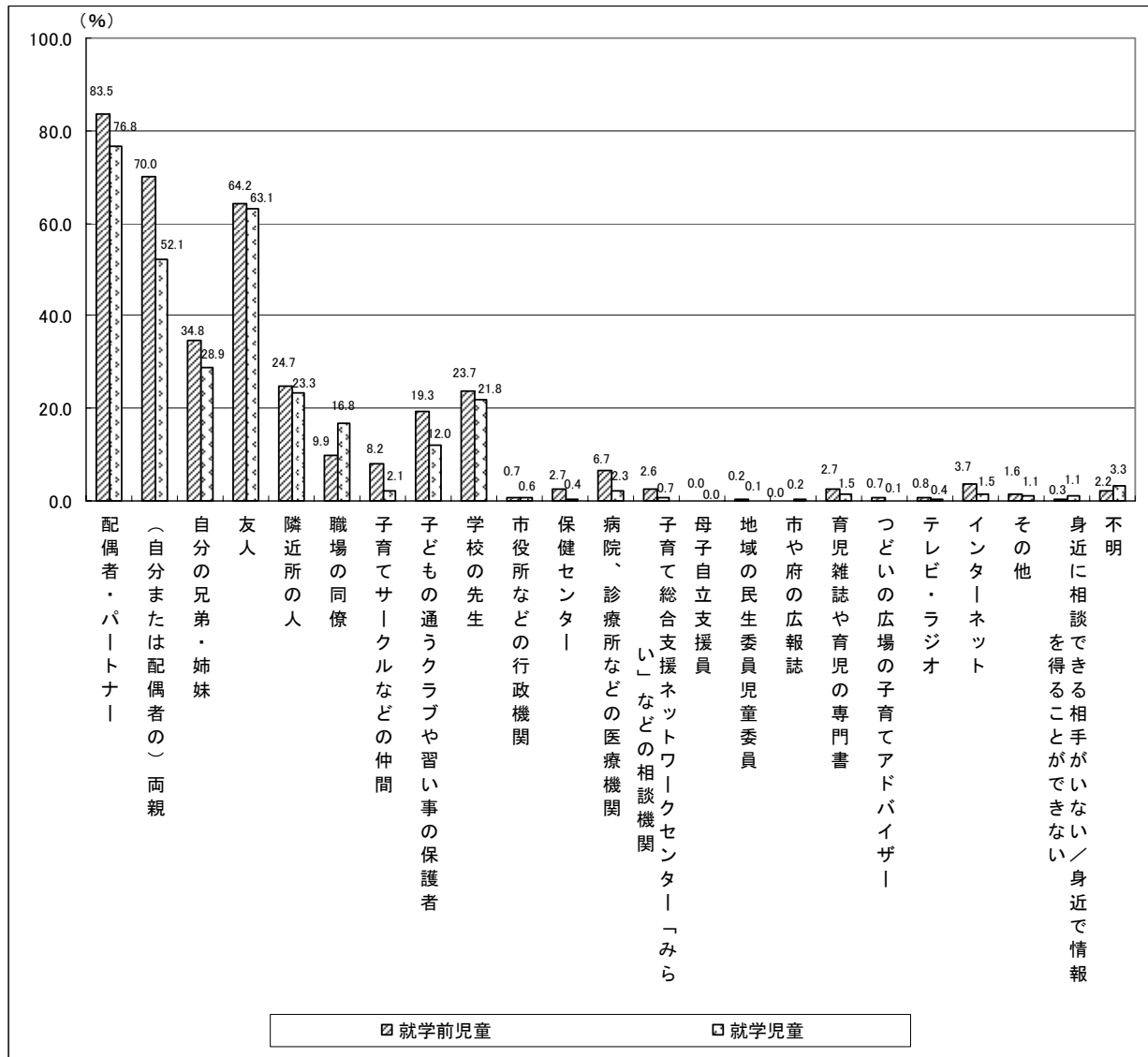
図表 434 <親に関する>不安や悩み(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(2) 子育てで困った時の相談相手

子育てで困った時の相談相手についてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに上位にあがっている人に大きな違いはみられず、「配偶者・パートナー」、「(自分または配偶者の)両親」、「友人」が多くあげられています。

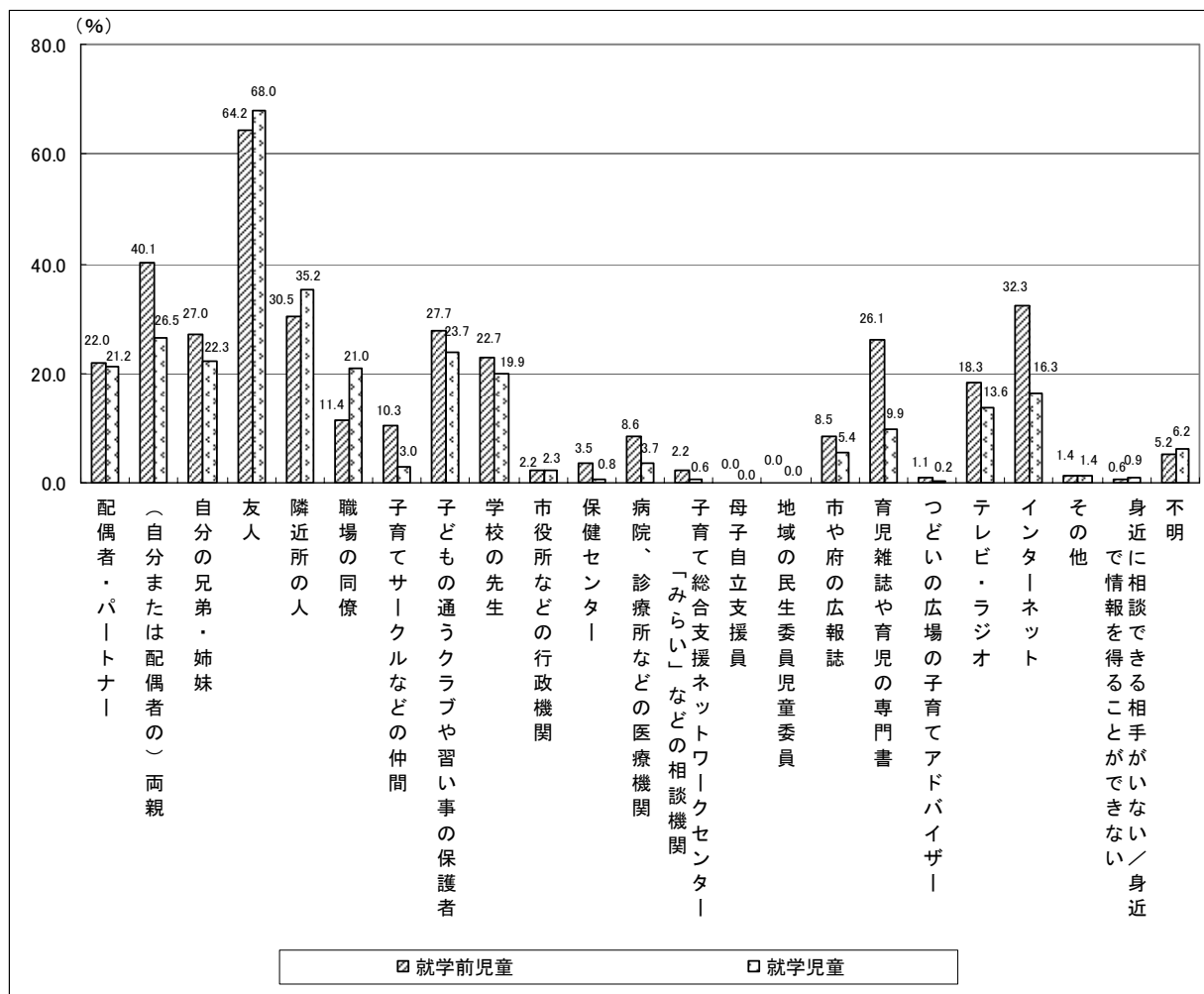
図表 435 子育てで困った時の相談相手(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(3) 情報収集している相手

情報収集している相手については、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに、上位にあがっているものに大きな違いはみられず、「友人」が最も高く、65%前後となっています。その他では、「(自分または配偶者の) 両親」、「育児雑誌や育児の専門書」、「インターネット」をあげている人の割合が、就学前児童がいる世帯の方が就学児童がいる世帯に比べて13.6～16.2ポイント高くなっています。

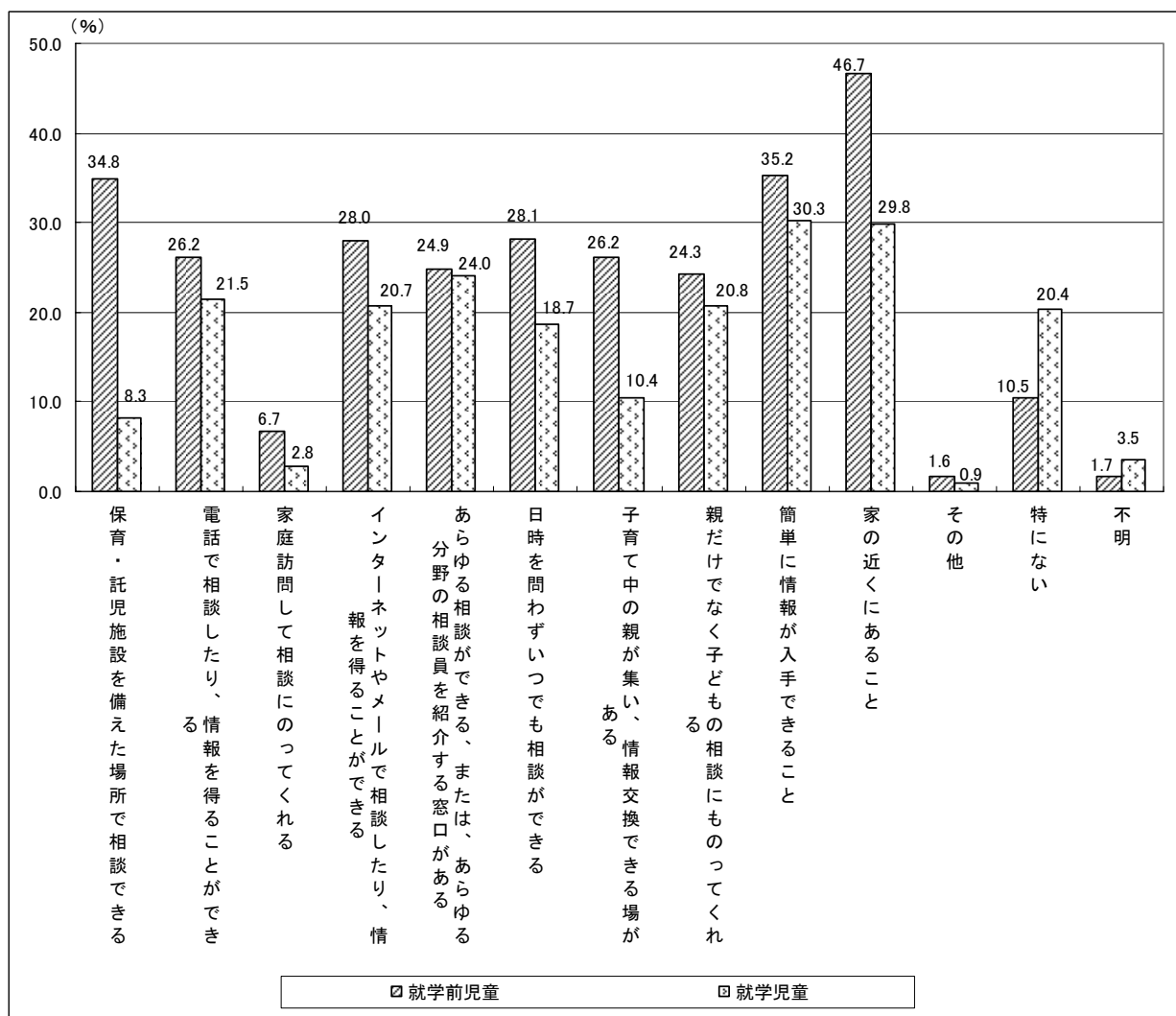
図表 436 情報収集している相手(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(4) 子育てに関する情報・相談の希望

子育てに関する情報・相談の希望形態についてきいたところ、就学前児童がいる世帯は「家の近くにあること」をあげる人の割合が最も高く、46.7%となっています。次いで「簡単に情報が入手できること」、「保育・託児施設を備えた場所で相談できる」となっています。一方、就学児童がいる世帯は「簡単に情報が入手できること」をあげる人の割合が最も高く、30.3%となっています。次いで「家の近くにあること」、「あらゆる相談ができる、または、あらゆる分野の相談員を紹介する窓口がある」となっています。また、就学児童がいる世帯は「特にない」とする人も20.4%います。

図表 437 子育てに関する情報・相談の希望(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



4. 子育て環境の変化

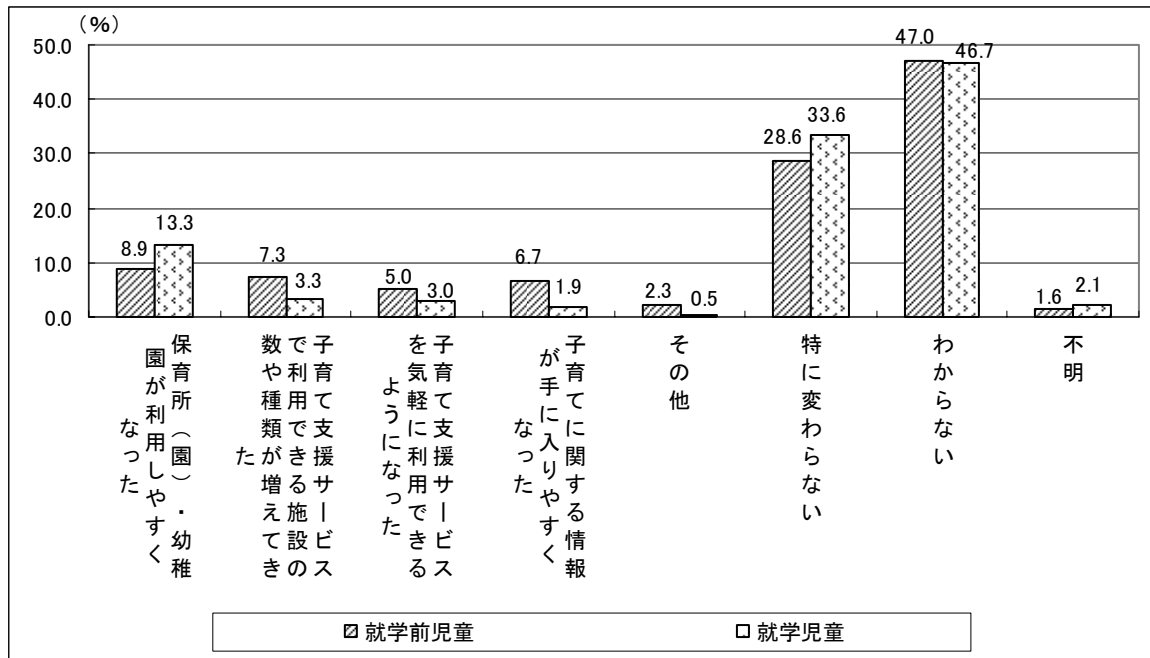
(1) 子育て支援サービスは利用しやすくなったか

子育て支援サービスが利用しやすくなったかについてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに大きな違いはみられず、「わからない」、「特に変わらない」人の割合が高くなっています。

一方、何らかの効果があったとする人の中では、就学児童がいる世帯は「保育所（園）・幼稚園が利用しやすくなった」をあげる人の割合が最も高く、13.3%となっています。

就学前児童がいる世帯は、「保育所（園）・幼稚園が利用しやすくなった」、「子育て支援サービスで利用できる施設の数や種類が増えてきた」、「子育てに関する情報が手に入りやすくなった」をあげる人がほぼ同じ割合で高くなっています。

図表 438 子育て支援サービスは利用しやすくなったか(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]

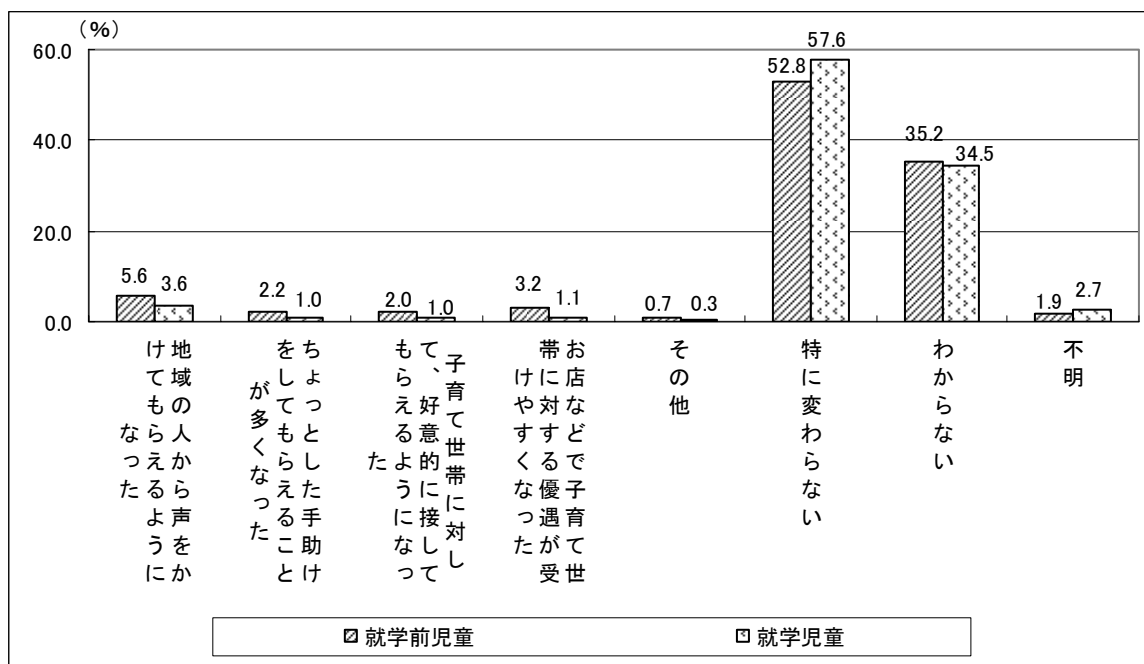


(2) 地域での子育て支援状況の変化について

地域での子育て支援の状況の変化についてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに大きな違いはみられず、「わからない」、「特に変わらない」人の割合が高くなっています。

一方、何らかの変化があったとする人の中では、就学前児童がいる世帯は「地域の人から声をかけてもらえるようになった」をあげる人の割合が最も高く、5.6%となっています。

図表 439 地域での子育て支援状況の変化について(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]

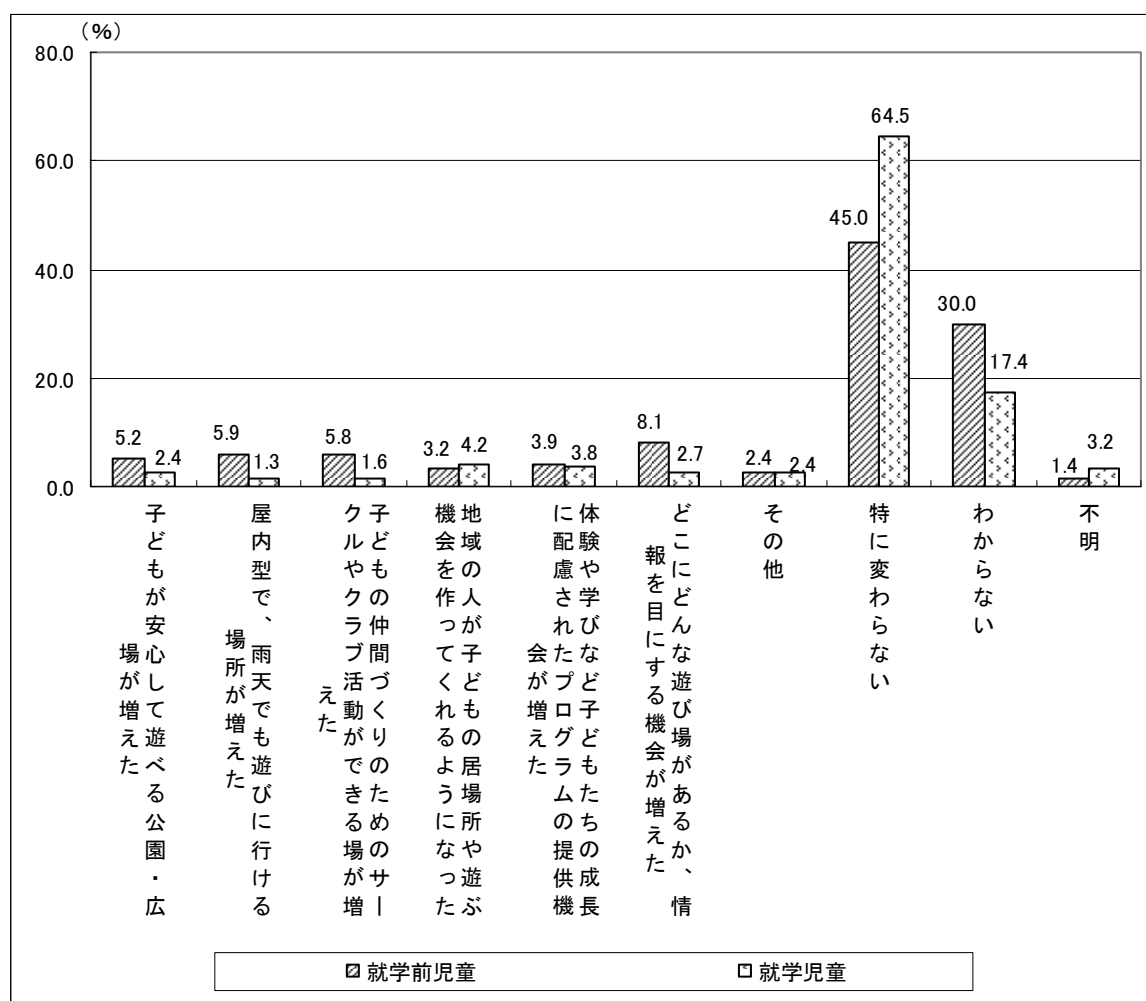


(3) 子どもの居場所や遊び場の状況変化について

子どもの居場所や遊び場の変化についてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに大きな違いはみられず、「わからない」、「特に変わらない」人の割合が高くなっています。特に就学児童がいる世帯は「特に変わらない」人の割合が64.5%となっています。

一方、何らかの変化があったとする人のなかでは、就学前児童がいる世帯は「どこにどんな遊び場があるか、情報を目にする機会が増えた」をあげる人の割合が最も高く、8.1%となっています。

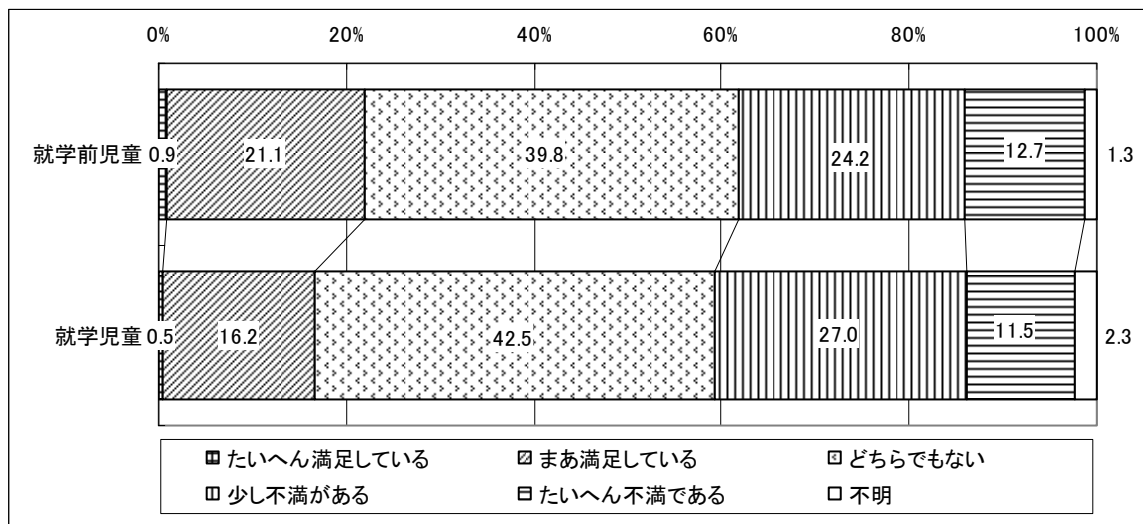
図表 440 子どもの居場所や遊び場の状況変化について(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(4) 八尾市での子育て環境の満足度について

八尾市の子育て環境について満足度をきいたところ、「大変満足している」、「まあ満足している」といった満足している人は就学前児童がいる世帯が 22.0%、就学児童がいる世帯が 16.7%、「どちらでもない」が就学前児童がいる世帯は 39.8%、就学児童がいる世帯は 42.5%、「少し不満がある」、「たいへん不満である」と、不満な人は就学前児童がいる世帯が 36.9%、就学児童がいる世帯が 38.5%となっており、不満な人が満足している人より多くなっています。

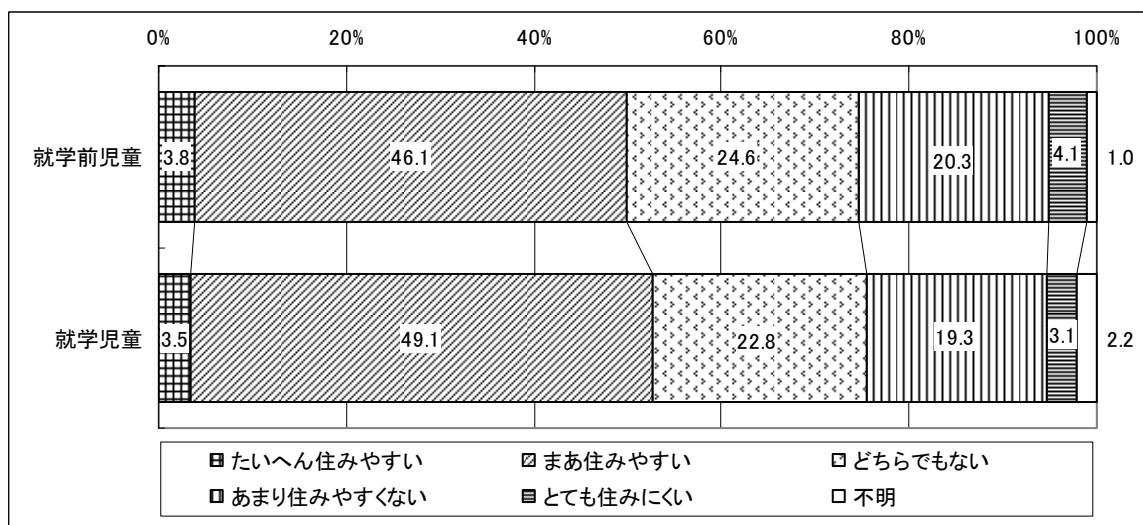
図表 441 八尾市での子育て環境の満足度について[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(5) 現在の地域環境が子どもにとって住みやすいと感じるか

現在の地域環境が子どもにとって住みやすいと感じるかきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに約半数が住みやすいとしています。

図表 442 現在の地域環境が子どもにとって住みやすいと感じるか[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]

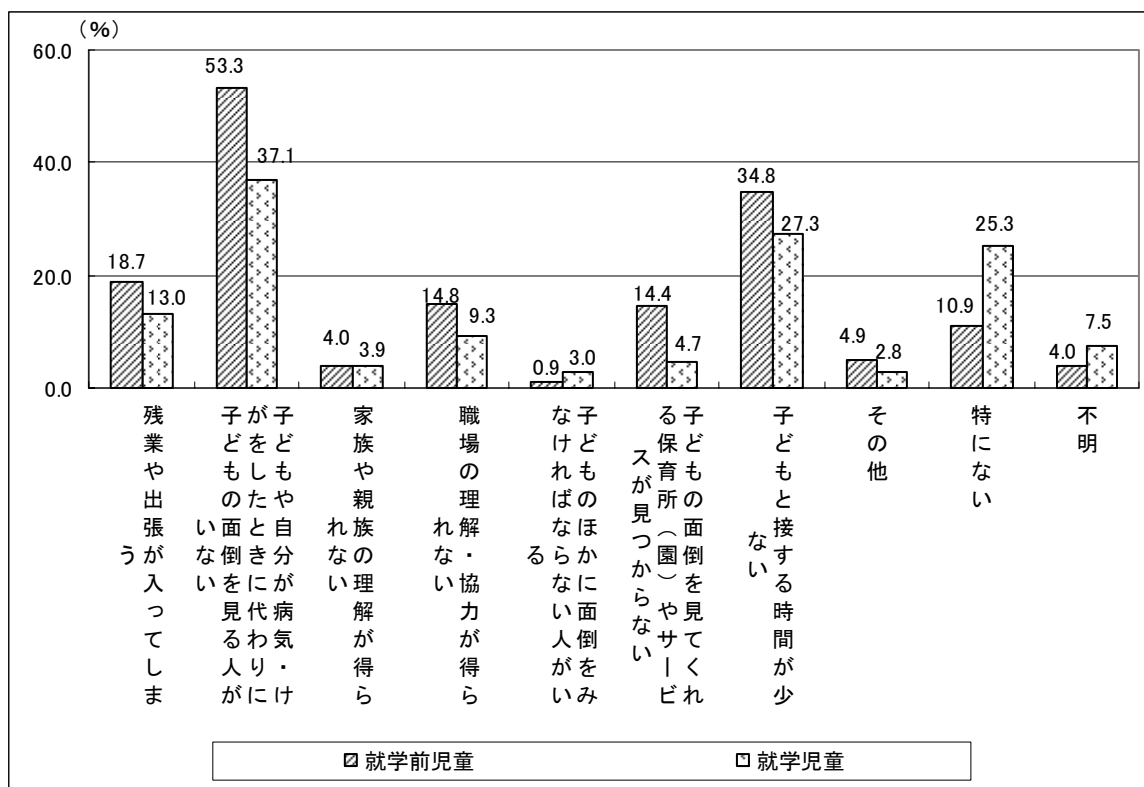


5. 子育てと仕事の両立について

(1) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについては、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに上位にあがっているものに大きな違いはみられませんが、就学前児童がいる世帯では「子どもや自分が病気・けがをしたときに代わりに子どもの面倒を見る人がいない」をあげる人の割合が最も高くなっています。それ以外では、就学児童がいる世帯は就学前児童がいる世帯に比べて「特にない」とする割合が高くなっています。

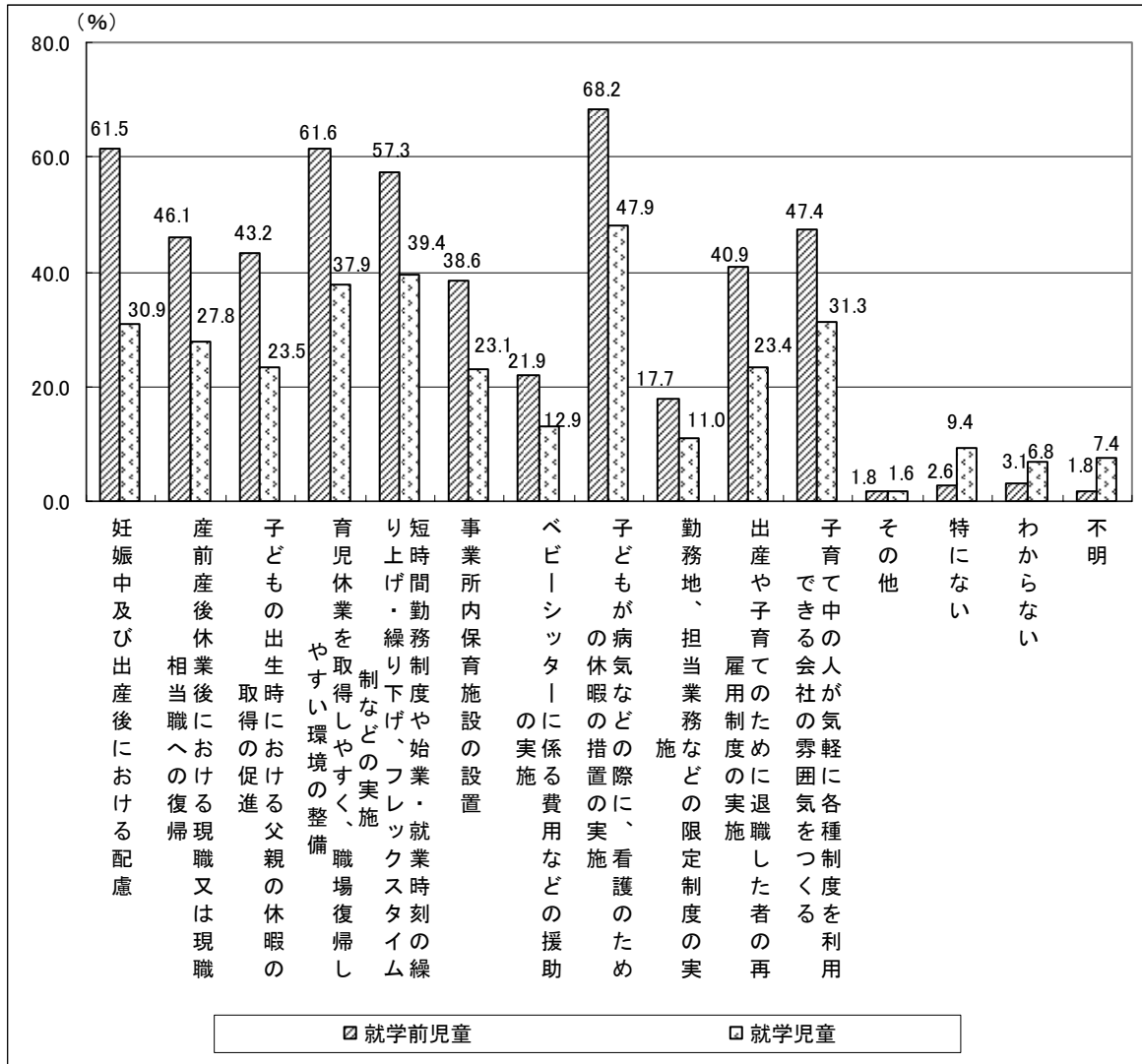
図表 443 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること(2つまで)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(2) 仕事と子育てを両立するために職場環境に求めるもの

仕事と子育てを両立するために職場環境に求めるものについてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに上位にあがっているものに大きな違いはみられませんが、全体的に就学前児童がいる世帯は就学児童がいる世帯に比べて項目をあげている割合が高くなっています。

図表 444 仕事と子育てを両立するために職場環境に求めるもの(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]

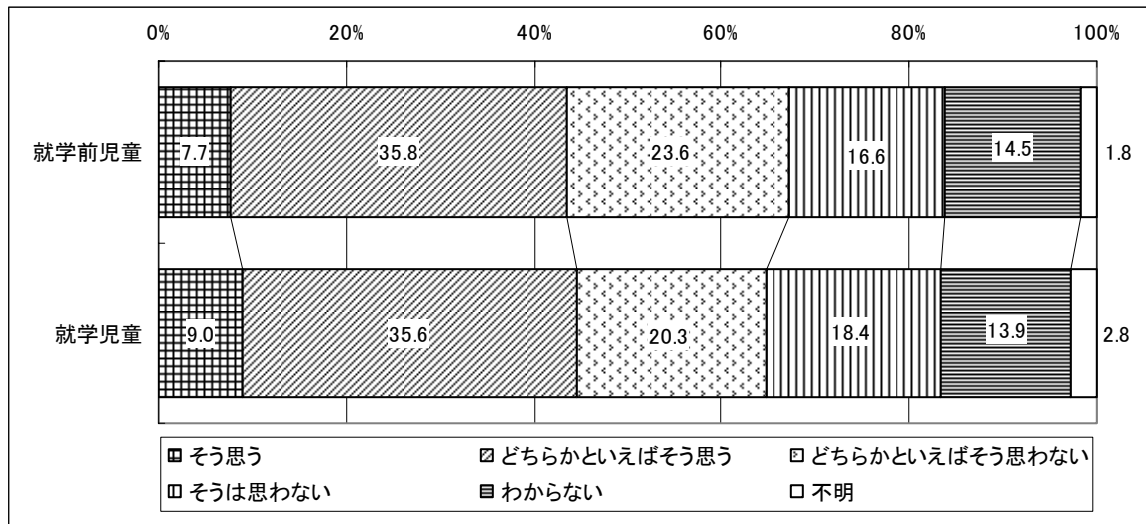


(3) 仕事、家庭生活、地域生活、自己啓発などバランスが取れていると思うか

仕事、家庭生活、地域生活、自己啓発などバランスが取れているかきいたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」といった、バランスがとれていると思う人が就学前児童・就学児童がいる世帯ともに45%弱を占めています。

図表 445 仕事、家庭生活、地域生活、自己啓発などバランスが取れていると思うか

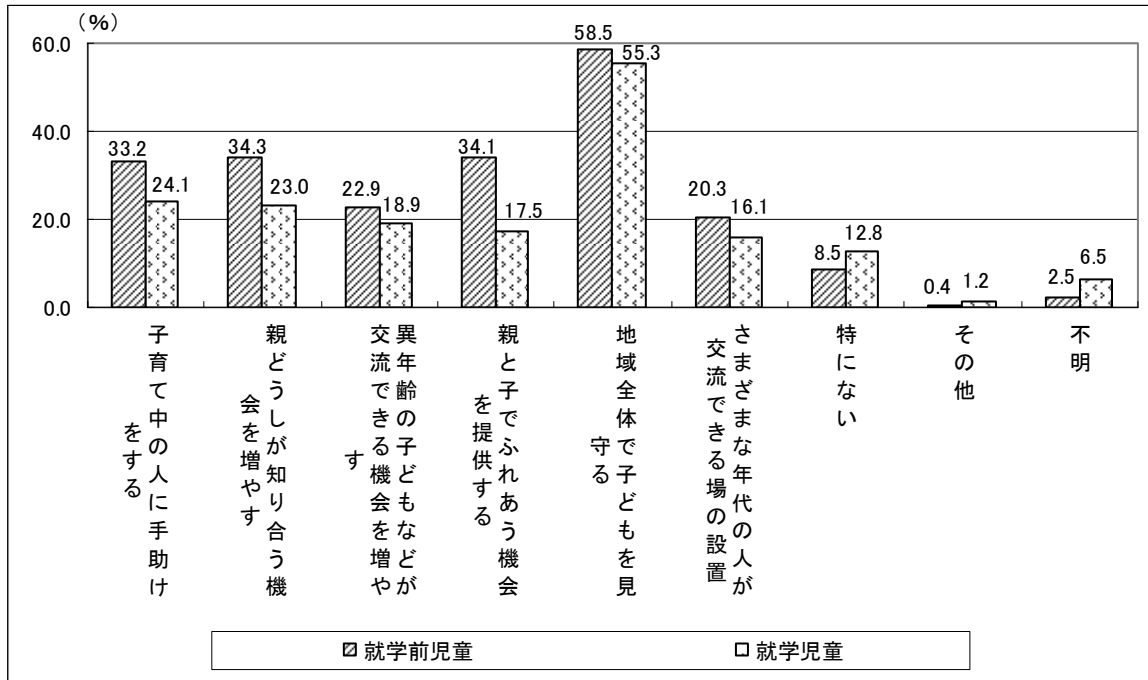
[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(4) 子育てで地域社会支援として求めること

子育てで地域社会支援として求めることについてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに上位にあがっているものに大きな違いはみられません。全体的に就学前児童がいる世帯の方が就学児童がいる世帯に比べて、希望をあげる人の割合が高くなっています。

図表 446 子育てで地域社会支援として求めること(複数回答)[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]



(5) 子育ての経験を活かしボランティア活動することについて

子育て経験を活かしボランティア活動を行うことについてきいたところ、就学前児童・就学児童がいる世帯ともに「ぜひ活動したい」、「時間に余裕があれば活動してもよい」といったボランティア活動への参加に前向きな人が半数強います。

図表 447 子育ての経験を活かしボランティア活動することについて[就学前児童;N=1,254、就学児童;N=1,183]

